

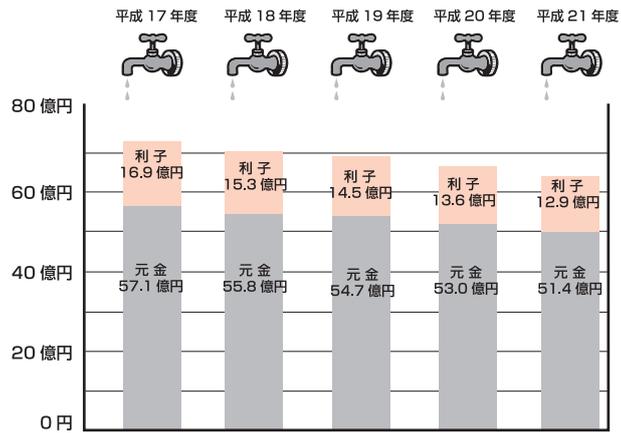
市は、安定的に水道水をお届けするため、管路の整備や耐震化などの建設投資を行っています。企業債はこれらの建設改良に伴う資金が必要な場合、その財源として発行を認められるものです。

平成21年度は、2億3,930万円の企業債を発行しました。また、これまで借り入れた企業債の元金4億33万円と利子1億2,174万円、合計5億2,207万円を支払いました。

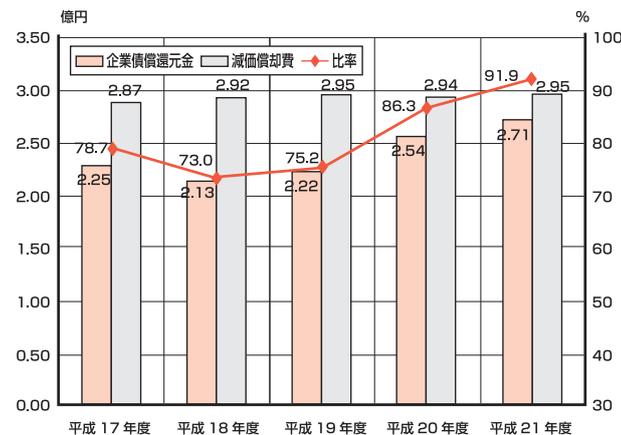


企業債の償還元金が減価償却費よりも多くなると、償還するための資金がなく、純利益からその財源を求めなければなりません。このバランスを見ることにより財政の安定度を計ることができます。

現在では、この比率は増加の傾向にありますが、企業債の発行を抑え、安定した経営を行うように努めています。



企業債の状況 各年度末の残高



企業債償還元金と 減価償却費比率

用途区分	平成17年度		平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度	
	給水戸数	年間給水量								
家事用	20,460戸	3,462,997立方メートル	20,652戸	3,470,370立方メートル	20,756戸	3,460,570立方メートル	20,774戸	3,369,737立方メートル	20,787戸	3,402,390立方メートル
家事用以外	1,326戸	944,356立方メートル	1,316戸	918,210立方メートル	1,313戸	872,618立方メートル	1,270戸	836,276立方メートル	1,236戸	814,477立方メートル
公衆浴場用	3戸	35,798立方メートル	4戸	31,911立方メートル	4戸	16,957立方メートル	3戸	6,991立方メートル	3戸	5,765立方メートル
臨時用	46戸	1,824立方メートル	48戸	9,880立方メートル	39戸	1,552立方メートル	40戸	4,040立方メートル	55戸	2,920立方メートル
合計	21,835戸	4,444,975立方メートル	22,020戸	4,430,371立方メートル	22,112戸	4,351,697立方メートル	22,087戸	4,217,044立方メートル	22,081戸	4,225,552立方メートル
1日平均給水量	12,178立方メートル		12,138立方メートル		11,890立方メートル		11,554立方メートル		11,577立方メートル	

給水量と 給水戸数の状況

炊事や洗濯、入浴などわたしたちの生活に欠かせない水は、平成21年度末の行政区画人口5万2,336人に対して5万1,391人が利用しており、水道普及率は98.19%。市内のほとんどの家庭に水道水を供給しています。

また、給水戸数は、家事用・家事用以外・公衆浴場用・臨時用と4つの用途に分かれており、家事用は、給水戸数が2万戸を超え、給水量は約340万立方メートルの水を供給しました。

家事用以外は、給水戸数はここ数年増減が微少で、給水量が平成17年度と比べ、大きく減少しています。

家事用以外の減少は、長引く景気低迷や大口利用者の地下水利用による影響が大きいと考えられます。

臨時用は、道路や住宅工事に水を使用したものです。

